

道東エリア内の 災害廃棄物処理に係る 課題検討

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区 分	課 題
自治体内体制	・当市は広大な面積を有していることから多様な地理的特徴に応じた廃棄物処理が必要であり、それぞれの地域特性に合わせた仮置場の設置方法、災害廃棄物の収集運搬方法等を検討する必要がある。 ・庁舎内の連携
初動体制	・災害が起きた際に迅速に廃棄物の撤去や処理を行えるかどうか。
処理計画	・平成30年度に災害廃棄物処理計画を策定したが、内容の更新について検討したいと考えている。

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区 分	課 題
協力体制、協定	・業者の連携 ・災害廃棄物処理支援協定について ・災害発生時の協力体制について、協定は既に締結しているが具体的な協力体制について議論が及んでいないため、どのように構築していくか悩んでいる。 ・災害廃棄物処理に関する協定について、自治体及び事業者の認知度・理解度は進んでいないように思う。
処理先	・中間処理（破碎・焼却）ができないもの（レンガ等）の最終処分方法（現在の最終処分場の埋立容量が不足する可能性がある） ・処理先が中間処理施設1箇所しかない。 ・末端の処分場のキャパや有事の体制がわからないと、計画が絵に描いた餅になる。

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区 分	課 題
広域連携	・ごみの焼却処理を広域組合において共同処理を行っており、埋め立てごみの破碎処理も広域化を予定していることから、災害廃棄物処理の実施に際しては、近隣自治体との連携を図る必要がある。 ・自治体内、中間処理施設、最終処分場の受入が困難となる量の災害廃棄物が生じる事案が発生した場合、近隣自治体も同様の状況になることが考えられますが、実際の連携をどのようにとることが出来るか、どこまで詰めておく必要があるか検討が必要。 ・万が一、大規模震災が発生し、釧路根室の沿岸部一円が津波等で被災した場合、災害廃棄物処理事務及び業務全般を釧路・根室管内の自治体及び事業者のみで対応するのは不可能と考える。

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区 分	課 題
仮置場	・ 仮置場候補地の選定、確保
	・ 大地震による津波被害想定が広範囲に及ぶことから、適切な土地を選定することが困難な状況となっている。
	・ 仮置場の選定、運営
	・ 市内に架かる橋が倒壊するレベルの大きな災害が起きたときに、仮置場の設置や運搬、運営をどのように行っていくかが課題であると考えている。
	・ 仮置場のレイアウト
	・ 仮置場の候補地や運営方法、住民への周知など多数の課題があると考えている。
	・ 災害発生後の仮置場設営に係る看板等の備品をどう工面するか悩んでいる。

5

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

<課題等のまとめ>

【自治体内対応】

- ・ 自治体内でも地域特性に応じた災害廃棄物対応が必要。
- ・ 迅速な初動対応のために自治体内の連携が必要。

【連携】

- ・ 民間企業や団体との協定について、相互の協議が必要。
- ・ 処理先の体制や処理量の事前確認が必要。
- ・ 広域処理自治体間の連携について事前協議が必要。
- ・ 広域処理をしている自治体が一斉に被災した場合の検討が必要。

【仮置場】

- ・ 仮置場の選定が困難。
- ・ 仮置場のレイアウト、運営、住民周知の事前検討が必要。

他の自治体に聞いてみたいことはありますか。

似たような課題に取り組んだ経験や解決した例はありますか。

エリア内で協力して対応できる課題はありますか。

6